

防火防災

熊本市立河内中学校 中嶋 美晴

三月十一日に東北日本大震災がおこりました。たくさんの方の命がうしなわれ大きな建物も津波にのみこまれて一瞬にして町が、がれきにうめつくされてしまいました。私はテレビを通してでしか見ていないけど津波にのみこまれた町、がれきにうめつくされた町は想像もつきませんでした。あれだけ簡単に人間の命がうしなわれることにおどろきをかくせま

せんでした。そして災害にあい被災された方々は体育館などの避難場所生活をして家族や友達とも離れ、とてもさみしい思いをしていると思います。それを見た多くの人は、被災地に行き炊き出しや物の支援して被災地に来れなかっただけでなく、近くの店でぼきんをしたりして日本中が一つになり世界中の優しい心をあらためて感じました。この自然災害は人間の力じゃ止められないから日ごろのひなん訓練を一生懸

命取りくんできてほしいと思います。ある学校  
では生徒一人も亡ならなかったことがありま  
す。その学校では日頃から訓練などには真  
剣に取り組み、定期的に訓練を行っていた  
事が「死亡者ゼロ」という結果に結びいた  
と思います。この学校のようにもう少し、  
懸命に訓練に取り組んでいたのなら、亡く  
なる人はもう少し少なかっただと思いま  
す。しかし、自然災害は予測もつきません。あ  
んなに大きな地震があつて自然の力はあ  
んなに大きいので、いづつくるのか  
分らないし、いざとなることがあるのか  
わかんない。自然は何よりも怖い。私も  
しこの時を考えて、真剣に訓練をしな  
いと思います。そして訓練で警告が  
来たときには、「本番だと思つて、  
ふたすたいです。」  
私は、自分の命を大切に、友達、家族の  
おもいやりを大切に、たれとでも協力を  
し合いたいです。これから非難訓練があ  
るときは、最悪の時態、今回あつた東北東日本

大震災のことを思い出し、真剣に取りくんで  
いきたいです。